

日時:8月29日(木) 10:00 - 13:00

場所:JICA横浜「かもめ」

## 2030年の自由で開かれた インド太平洋地域のグローバルロジスティクス・セミナー

### 背景

自由で開かれたインド太平洋地域によるダイナミズムは、国際社会の安定と繁栄のために重要である。同地域で長期的な質の高い成長を達成するためには、同地域全体を俯瞰した長期的な物流インフラ開発戦略を策定する必要がある。JICAは、同地域の将来の望ましい開発シナリオの下でGTAP (Global Trade Analysis Project) モデル、インターモーダル国際物流モデルを用いて、さまざまな地域間の輸送サービス水準と貨物量を求め、物流ネットワークのボトルネックを抽出し長期的な物流インフラ戦略の方向性を検討しているところである。

### 目的

自由で開かれたインド太平洋地域の将来の望ましい開発シナリオの下で抽出された物流ネットワークのボトルネックを共有し、JICAの同地域における物流インフラ施設整備にかかる長期戦略について議論する。

### キークエスチョン

- ▶ 自由で開かれたインド太平洋地域の将来の望ましい開発シナリオ (規範的アプローチ) とは何か？
- ▶ 同地域の将来の望ましい開発シナリオの下で抽出された物流ネットワークのボトルネックとは何か？
- ▶ アフリカとアジアのコネクティビティをどのように改善することができるか？そして、JICAはどのように貢献することができるか？

### 登壇者

#### 招聘者

Dr. Arch. Daniel Manduku, Managing Director, Kenya Ports Authority (KPA) / Mr. Ambrosio Adolfo Siteo, National Director, Mozambique Ministry of Transport and Communication / Christian Eddy AVELLIN, General Director of Toamasina Autonomous Port, Madagascar

#### 発表者

大谷直輝 JICA社会基盤・平和構築部 運輸交通・情報通信第二チーム / 小野寺仁 パシフィックコンサルタンツ株式会社 / 柴崎隆一 東京大学准教授

#### パネリスト

Dr. Arch. Daniel Manduku, Managing Director, Kenya Ports Authority (KPA) / Mr. Ambrosio Adolfo Siteo, National Director, Mozambique Ministry of Transport and Communication / Christian Eddy AVELLIN, General Director of Toamasina Autonomous Port, Madagascar / 花岡伸也 東京工業大学教授 / 篠原正治 国際港湾協会 (IAPH) アジア地域 (1) 副会長 (阪神国際港湾株式会社理事) / 古市正彦 JICA技術アドバイザー

言語: 日本語 英語 仏語